



下境っ子

直方市立下境小学校
校長 塩田 朋久

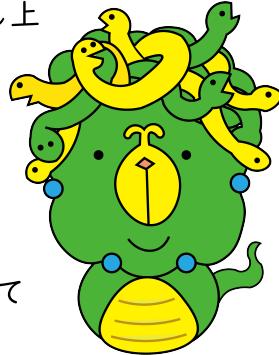
あけましておめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。保護者の皆様には、昨年中、本校教育活動に対しご理解とご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

さて、今年は「巳年」です（右イラストは松山先生作）。へびは古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっています。こうした意味から、巳年は、「**新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年**」とも解釈されているそうです。

現代は「VUCA（ブーカ）」の時代と言われています。

Volatility：変動性 **Uncertainty**：不確実性
Complexity：複雑性 **Ambiguity**：曖昧性 一言でいうと、「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味します。



ご存じのように、ここ数年でAI（人工知能）技術が飛躍的に進歩し、自動車や家電製品などにもAIが組み込まれ、私たちの生活もその恩恵を知らず知らずのうちに受けるようになってきました。教育現場にも日々生成AIを取り入れた学習が始まることでしょう。「十年一昔（じゅうねんひとむかし）」という言葉があります。これは世の中の移り変わりが激しいことのたとえです。しかし、今や十年のスパンではなく「三年一昔」と言えるくらいスピードが速く、刻一刻と劇的に変化しています。もはや、親が子どもに「昔は～だから、～すればよい」と、経験したことをそのまま子どもに伝授することが難しくなってきている気がします。

巳年は、先述したように「挑戦」「前向き」がキーワードです。将来の予測が困難な時代とは言え、ものごとを多面的に見て正しく判断する力を身に付け、他者とのコミュニケーションをしなやかにとれるようにすることができれば、何事にも前向きに挑戦していくのではないかと思います。そのためにも、社会で生きていく上の素地を培う義務教育段階での学習や集団生活での体験がとても大切だと思います。

しなやかだけれども、ブレない自分を磨いていく・・・そんな子どもたちを目指して、今年も変化に対応しながらもよりよい教育活動が推進できるよう努めていきたいと考えています。



欠席等の連絡について（確認）

2学期の後半、お子さんの欠席や遅刻の連絡がなく、**担任が確認のために教室を離れて時間をとられている**ケースが目立ちました。お子さんの安全確認およびクラスの学習時間の保証のためにも以下のことを守っていただきますようお願いします。

- ① 欠席・遅刻等の連絡は**当日の8:30までにロイロノートで送信**する。8:30以降は電話連絡をする。※担任に伝えておきたいことがある場合は電話でも構いません。
- ② お子さんが登校したかどうか分からない状況にならないようご配慮ください。お仕事等の関係で、お子さんだけで登校のため家を出していくこともあるかと思いますが、時々連絡がつかないことがありました。緊急連絡先の確認も含め、所在確認ができるようお願いします。